

小松精練の知恵を凝縮させた
スタンディング・ファブリック
『KONBUTM-N』（コンブ-エヌ）の
開発と展開について

小松精練株式会社（本社：石川県能美市 社長：蓮本英信）は、世界に冠たる先端ファブリックメーカーを目指し、これまで驚きと感動ある素材開発を進めてまいりましたが、このほど、独特の形状と触感を持つ、全く新しいスタンディング・ファブリックが完成し、『KONBU-N』（コンブ-エヌ）のブランドで、2009年6月より本格的に販売を開始いたします。

■ 『KONBU-N』の開発経緯

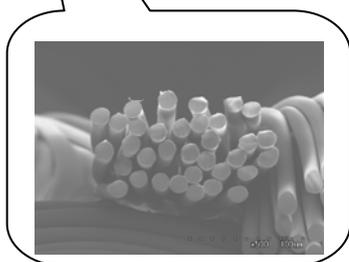
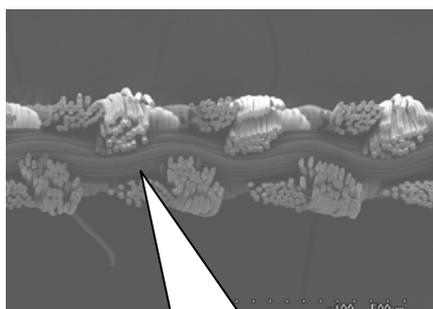
国内外問わず有力なファッション、スポーツアパレルは衣料だけでなく、斬新な素材を使ったバッグや小物なども同時に提案し、トータルコーディネートでそのブランドの世界観を提案されています。そこで、弊社はこのバッグや小物などのアクセサリーアイテムにも注目し、自社のもつ高次後加工技術と匠の知恵を結集させ、これまでにないオリジナル素材を開発、昨年末より水面下で国内外問わず市場調査を行って参りました。

その間、弊社が開発した自立する程の硬さを持ちつつも独特の形状と触感をもつスタンディング・ファブリックは、バッグなどのアクセサリー市場では「見たことのない素材」と感嘆の声を集めてきました。そして、市場が求める更なるニーズをキャッチして開発を重ね、ファッション資材（バッグなど）分野に求められる要望（＝自立する）をクリアさせたファブリックが完成し、且つ、本格生産体制も整備されましたので、ここに『KONBU-N』（コンブ-エヌ）のブランドで上市する運びとなりました。

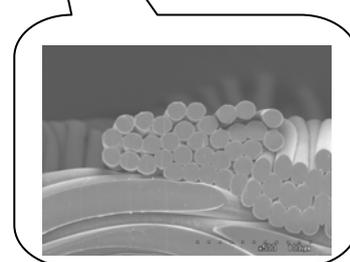
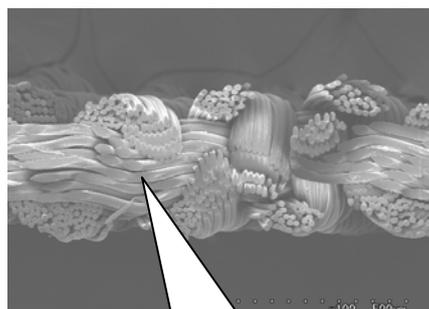
■ 『KONBU-N』の技術特長

- 1) 「KONBU-N」は当社独自の特殊加工技術によって、繊維の一本一本が膨潤し、膨らみ感を与え、ボリュームアップさせています。

ブランク（未加工品）断面写真

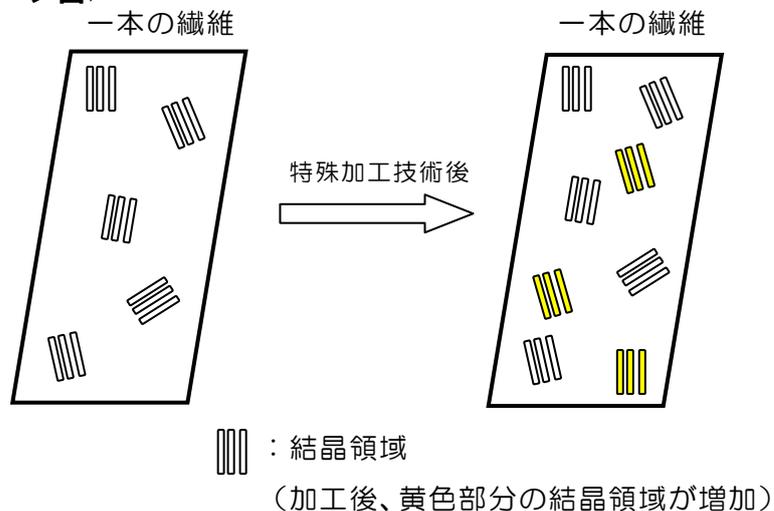


「KONBU-N」断面写真



- 2) 「KONBU-N」は当社独自の特殊加工技術によって、ナイロンファイバー自体を改質させています。これによって、ファイバーの結晶化度が10～30%アップし、風合いを硬化させています。

<イメージ図>



- 3) 『KONBU-N』は堅牢度、劣化耐久性、吸湿性について、未加工品と遜色ありません。
- 4) 製品染めの際、『KONBU-N』の技術を応用させると、糸の表面にフィブリル現象が起こり、古着調のビンテージ感が表現できます。
※なお、綿ベース、ウールベースの『KONBU』についても現在開発中です。

■ 『KONBU-N』の商品特長

- 1) 「KONBU-N」は海産品の昆布のようなドライ感・締め感（コンパクト感）が最大の特長です。
- 2) 「KONBU-N」はしなやかでありながら、自立できる程の独特な硬度を持ち合わせています。（スタンディング・ファブリック）素材硬度は当社が提案するファブリックの中で最高レベルです。
- 3) バリエーションとして「KONBU-N 製品染用晒」も開発されており、製品染によるナチュラルな表面感と独特の味わいを楽しむことも出来ます。
- 4) 洗濯によって風合いや機能が損なわれることもありません。
- 5) 極めて発色性のよい素材として色でも素材を楽しむことが出来ます。

■ 『KONBU-N』の用途展開

- ・ アクセサリー（バッグ・財布・ペンケースなど）

■ 『KONBU-N』の販売計画

初年度	5万m	0.5億円
3年後	15万m	1.0億円

■ お問い合わせ

小松精練株式会社

広報課

TEL：0761-55-8070

■ 『KONBU-N』 製品写真



↑ 『KONBU-N』 製品写真



↑ 未加工品（blank）製品写真